

News Release

2014年11月21日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

報道資料

広報・PRパーソン必携

『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2015年版』を刊行

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：近見竹彦）は、当協会の企画・編集による『広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2015年版』（手帳サイズ、288ページ）を、本年11月25日より、取次店を通じ首都圏始め大阪、名古屋、福岡、札幌など大都市圏の大手書店、及びアマゾンなどのネット書店で発売します。

当刊行物は、企業の広報担当やPR業界人のハンドブック（手帳）として創刊35年となる歴史ある刊行物で、最新のPR・マスメディア情報を満載したデータ集であることから、マスコミへのアプローチに不可欠の一冊、“情報源バイブル”として、広報・PR、宣伝・販促、IR・CSRの担当者を中心に、幅広く活用されています。

内容は毎年刷新して実務により役立つ内容を充実させ、最新データに更新しています。

発売日：11月25日（火）
名称：「広報・マスコミハンドブック
（PR手帳）2015年版」
仕様：手帳サイズ、288ページ
価格：1部 1,852円（+消費税）
発行部数：9,000部

主要コンテンツと掲載データは以下のとおりです。
今を読み解くKeyword／広報業務チェックリスト／
主要メディア連絡先一覧／記者クラブ／官公庁・
各種団体／ホール・イベント会場／PR・IR用語
ミニ辞典／「PR」の解説／PR関連団体／企業の
文化施設／2015年記念日カレンダー など

企画・編集：（公社）日本パブリックリレーションズ協会
発売元：（株）アーク出版

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
担当：佐野・縮（ちぢみ）
TEL：03-5413-6760
FAX：03-5413-2147
Mail:mail@prsj.or.jp



添付資料

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 (略称：日本PR協会) について

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（略称：日本PR協会（PRSJ）／理事長 近見竹彦）は、1964年に結成された日本PR協会と、1974年に設立された日本PR業協会が1980年に時代に即したPRの在り方を求め、PRの啓発・普及を図るために合併統合されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに学者・有識者を含む約500名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。

主要活動としては、広報・PRパーソンの倫理の徹底や「各種研修セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」及び「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営等を行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の理解促進と、会員のPRスキル向上を推進しています。また、2007年より、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を有することを認定する資格制度「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外のPRパーソンや、PRに興味を持つ学生などの幅広い参加をいただいております。2009年10月からは、新たに時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、広報力アップを目的とした「広報PRアカデミー」を開講いたしました。

さらに、PRプランナー資格認定制度対応テキストとして、2010年4月に「広報・PR概論(1次試験対応)」を、2011年3月に「広報・PR実務(2次・3次試験対応)」、2012年4月に「広報・PR資格試験 過去問題集(1次・2次・3次試験過去問題集)」を出版し、広報・PRの普及と発展に寄与しております。

●〈参考〉PRという用語について

一部にPRは宣伝と混同されている傾向がありますが、パブリックリレーションズ（PR）とは、企業をはじめ官公庁、学校、各種団体等の組織（体）が、自らの活動に関わる多様なパブリック（ステークホルダー）との間に良好な関係を継続的に築いていくための、コミュニケーションをベースとしたリレーションズ活動です。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F
TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147